

### 全国

1/10	5.68
1/20	2.58
1/23	1.93
1/31	1.46
2/1	1.28
2/7	1.15
3/14	0.93
3/21	0.98
3/28	0.95
4/4	1.05
4/11	1.01
4/18	0.98
4/25	0.97
5/10	0.97
5/16	1.07
5/21	0.97
5/21	0.97
5/29	0.93
6/6	0.90
6/13	0.95
6/20	0.98
6/25	1.01
7/4	1.11
7/11	1.24



### 宮崎

1/10	7.46
1/20	3.68
1/23	2.29
1/31	1.50
2/1	1.31
2/7	1.15
2/7	1.15
3/14	0.97
3/21	1.01
3/28	0.96
4/4	1.19
4/11	1.10
4/18	1.04
4/25	0.92
5/10	1.00
5/16	1.09
5/21	0.97
5/29	0.93
6/6	0.91
6/13	0.90
6/20	0.96
6/25	1.04
7/4	1.11
7/11	1.23



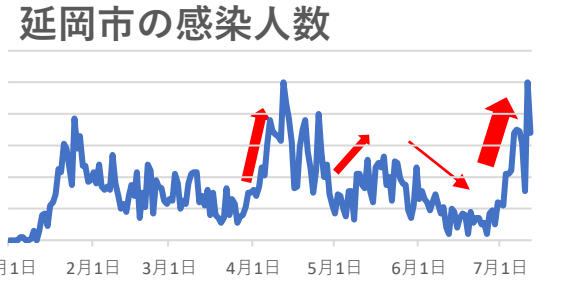
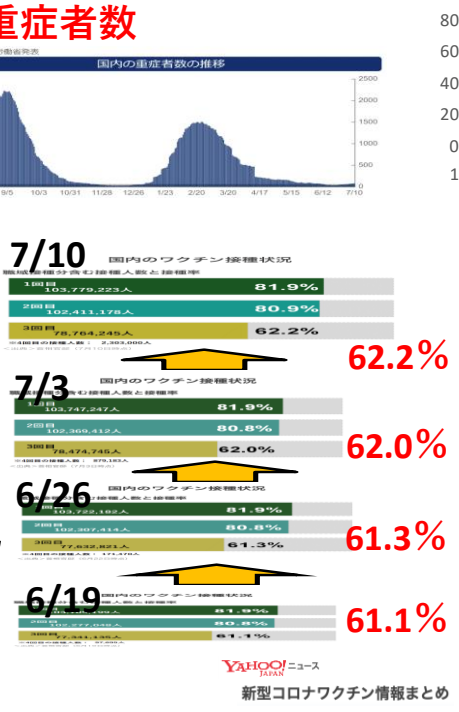
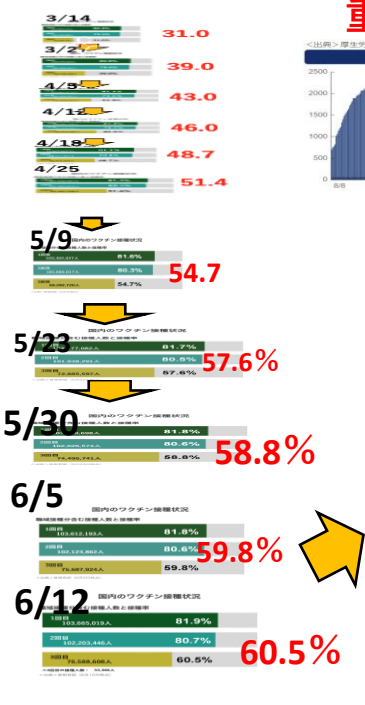
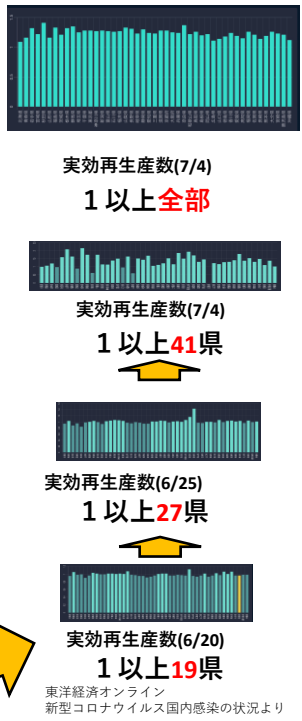
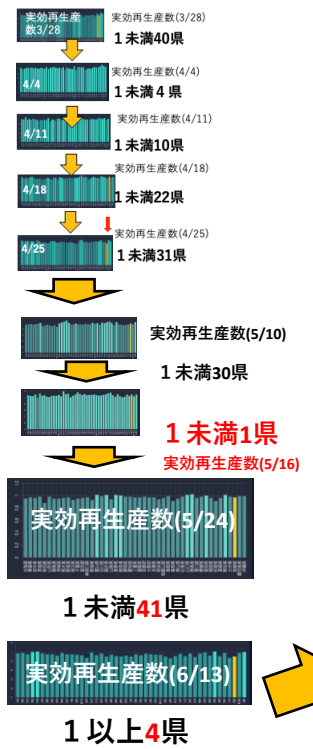
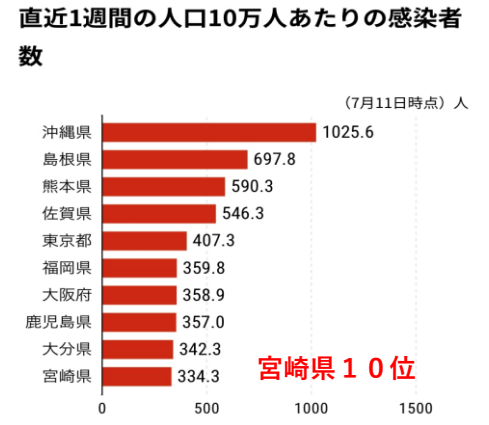
### 福岡

1/10	24.3
1/20	4.69
1/23	2.38
1/31	1.30
2/1	1.05
2/7	0.93
3/14	1.00
3/21	1.02
3/28	0.96
4/4	1.06
4/11	1.03
4/18	0.99
4/25	0.99
5/10	0.97
5/16	1.04
5/21	0.96
5/29	0.93
6/6	0.89
6/13	0.92
6/20	0.96
6/25	1.03
7/4	1.80
7/11	1.26

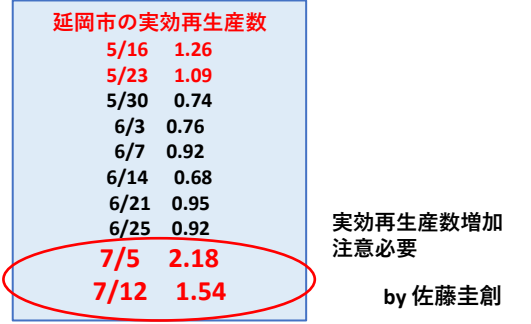


### 宮崎県DATA(7/12)

医療機関入院中**77名(延29)**  
 宿泊療養施設入所中**138名(延30)**  
 自宅等療養者**4207名**



飲酒を伴う会食での感染増加、家族内感染、高齢者施設、障害者施設、高校部活の感染増加している  
 現在下げ止まり状態から増加傾向、これから増加傾向、7月中旬以降BA.5に置き換わりさらに増加し、8月のお盆休み前後にピークその後9月後半には減少する



# ワクチン打とう！

赤字：修正 & 追加部分

- 7月に入り、急激な感染者の増加が始まった。
- 全国の実効再生産数、宮崎県の実効再生産数も1を超え、延岡市の実効再生産数は、2を超えており、今後は加速度的に増加すると考えられる。
- 急増の原因は、オミクロン株変異種亜種（BA.5など）の増加、暑さやよるマスク着用率などの変更、クーラー使用時の換気不十分、人流の増加、気の緩み、そして体内抗体の量の減少（ワクチン接種して4ヶ月以上経過したため）
- 今後は、オミクロン株変異種亜種（BA.5など）への置き換わりが進み、さらに感染者数の増加が見込まれる。
- **ポーランドなどの欧州のBA.5が拡大している国では、入院患者や重症患者がBA.1やBA.2よりも増加傾向にある。**
- 臨床では、感染した人の多くがワクチンを1回も打ってない人や3回目のブースター接種が済んでいない人で、強い咽頭痛、全身倦怠感、咳嗽、筋肉痛、関節痛、下痢などの強い臨床症状や後遺障害の出現数が増加している。
- 対策として、3密回避、マスク着用、換気の徹底、手洗い、人流抑制などが挙げられるが、もっとも有効な対策は、ワクチンの接種である。
- ワクチンは、モデルナ社とファイザー社のワクチンで、有効性（感染抑制と重症化抑制）に差はない（モデルナ社の方が有効性が高いという研究結果も出ている）。
- また、副反応についても、両社のワクチンで差がないことも報告されている。
- 現時点で、ファイザー社のワクチンの供給量が減少しており、**ノババックス・武田社**の組み換え蛋白ワクチンについては、供給が追いついていない。
- 感染拡大防止には、できるだけ早いワクチン接種が必要であり、モデルナ社ワクチンの接種を急いで接種してほしい。
- 1、2回目のワクチン打っていない人、3回目のブースター接種が済んでないほど、4回目のワクチン接種可能な人は、子供さんでワクチン打っていない人は、是非ワクチンを接種してほしい。「あの時打っとけばよかった」とあとから後悔しないようにしてほしい。
- 過去のワクチン接種で発熱や筋肉痛や倦怠感などが強かったりアレルギー等で接種に不安がある方は、適切な前投薬投与などで、安心して接種できる方法があるので、是非かかりつけ医に相談してほしい。
- また、4回目のワクチン接種において、60歳未満は基礎疾患がある患者とされているが、肥満や糖尿病以外にもかかりつけ医が必要と認めた患者さんは、接種可能なので、是非、かかりつけ医に相談して、多くの方に4回目の接種をしてほしい。
- 新型コロナ感染症の対策は、行政が指示する対策から、個々人や所属する組織が、自主的に考えて行動する段階に変わってきた。是非、自主的に、感染を減らす行動をお願いしたい。

# ワクチンの有効性と副反応

抗体量が上がりやすい組み合わせ(量が多いほど有効性が高い)

	1回目	2回目	3回目	抗体量 (2回目と比較して)
1位	ファイザー社	ファイザー社	モデルナ社	31.7
2位	ファイザー社	ファイザー社	ファイザー社	20.0
3位	モデルナ社	モデルナ社	ファイザー社	11.5
4位	モデルナ社	モデルナ社	モデルナ社	10.2

- どの接種パターンでも、抗体量が10倍以上にあがり、十分な有効性が期待される。
- 特に、ファイザー社2回接種後、3回目にモデルナ社を打つと特に有効性が高い。
- どの組み合わせでも、副反応に大きな相違はない
- 有効性、および副反応に関しても同等の効果がある

以上より、現在一番早く打てる3回目以降のワクチンを、できるだけ早く打つことが重要